



頑張れ！中塩田っ子

全国学力・学習状況調査の結果分析より

その！
6年生

4月に実施された令和4年度全国学力・学習状況調査（対象：6学年）の結果から、本校の傾向を分析いたしましたので、報告いたします。（○は成果、▲は課題）



本校の正答率は、全国平均より下回っていました。学習指導要領の内容別に見ると、【我が国の言語文化】が全国平均より高く、【言葉の特徴や使い方】と【話すこと・聞くこと】が特に低いという傾向が見られました。

○「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」の問題がよくできており、文字の大きさや行の中心に気をつけて文章を

整えて書くといった【言葉の特徴や使い方】の力が身についています。

▲「話し言葉と書き言葉の違いを理解すること」や「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること」、「自分の考えをまとめる」ことの問題の正答率が低く、【話すこと・聞くこと】に課題がみられます。また、「漢字を文の中で正しく使う」に関する問題の正答率が低く、【言葉の特徴や使い方】にも課題がみられます。

《今後の指導》

- ・様々な形式の問題に触れていかれるようにチャレンジタイム等の時間に取り組めるようにしていく。
- ・自分の思いや考えを文章でまとめ、伝え合っていく経験を授業の中で増やしていく。
- ・新聞の原稿を写し取り、感想を添えるなどの練習を行うようにして、整った文章に触れ、伝えたいことを読み取り、自分の考えをまとめる機会を設定していく。



本校の正答率は、全国平均より下回っていました。学習指導要領の内容別に見ると、「変化と関係」は全国平均とほぼ同じでした。一方、「数と計算」「データと活用」は全国平均より下回っています。

○「グラフから必要な情報を読み取ること」「ひし形の意味や性質の理解」の問題がよく理解できています。

▲「二つの数の最小公倍数を求めることができる」や「目的に合った数の処理の仕方を考察できる」、「表の意味を理解する」問題に課題がみられます。

《今後の指導》

- ・情報端末を利用して四則演算に取り組み、基礎的な計算能力を高める。また個の課題に応じた問題にも取り組んでいく。
- ・「データの活用」については、読み取ったものを説明したり、話し合ったりする活動を取り入れ、見方考え方を育てていく。また他教科も含め、グラフや表などを作成する場面を設定していく。
- ・情報端末を利用した、プログラミング学習と連動して論理的思考力をつけていく。

本校の正答率は、全国平均とほぼ同じでした。領域別の平均正答率では、全国に比べ「粒子」を柱とする領域が下回っていました。



- 「必要な観察の視点を基に、自分の考えをもつことができる」問題の正答率が高いです。
- ▲「メスシリンダーという器具の理解」が大きく下回っており、同問題については、無答率も高いです。また、「観察で得た結果から、自分の考えをもつ」が全国より下回っていました。

《今後の指導》

- ・器具の写真や名前を掲示しておき、他の実験場面でも利用していくなどの工夫をする。
- ・考察を根拠を含めて、自分の言葉で表現する活動を多く設け、自分の考えがもてるようにする。

⇒ これは、学校・家庭生活に関する質問の結果です。

- ・国語や算数の学習が大切だと感じる児童の割合が多かったです。
- ・将来の夢や目標を持っている児童の割合が多かったです。
- ・ICT 機器を授業で使用することに対する興味が高いです。
- ・新聞を読んでいる児童の割合が低かったです。

問 題
質問紙



その2
全校

中塩田小学力向上への取り組み

上記の全国学力調査の結果や4月に実施した4・5年生の学力検査の結果をふまえ、本校では学力向上に向けて、以下のような取り組みを行っています。

(1) 授業改善を目指した取り組み

- ① 授業のUD化・・・視覚的、具体的、肯定的な授業づくりを通して、児童が主体的・対話的で深い学びができるように努めています
- ② 多層指導モデルMIMの実施・・・1、2学年で計画的に取り組んでいます。上田市全体でも推進されている指導です。MIMを日常的に取り入れることで、読みの力が向上しています。 ※ MIM：読みのアセスとトレーニング
- ③ Chromebookの活用・・・高学年を中心に日常的に使用しています。授業の振り返りや児童間での意見交換、個々の進度に合わせたお手本動画の視聴などで積極的に活用しています。



(2) 地域ボランティアと連携した「チャレンジタイム」の実施

朝の活動「チャレンジタイム」の時間（火・木）では、担任と副担任、学習支援ボランティア（本校保護者・地域の方）により複数の目で子どもたちの学習を支援しています。個別指導の必要な児童は、ボランティアの方に手厚く支援していただき、学級担任はその他の児童の学習指導をする体制で行っています。



(3) 学習支援ボランティアによる低学年の外国語指導

例年実施していた学習支援ボランティアによる1、2年生への外国語指導ですが、2学期に入ってから実施できていません。コロナ感染レベルが低かった1学期実施しました。子どもたちは元気よく体を使った英語の歌を歌ったり、自己紹介のような身近な会話をしたりして、学習支援ボランティアの竹花先生と英語を楽しんでいます。今後感染警戒レベルが下がり、外国語学習が再びできる日を楽しみにしています。



文責：滝沢佳久（研究主任）